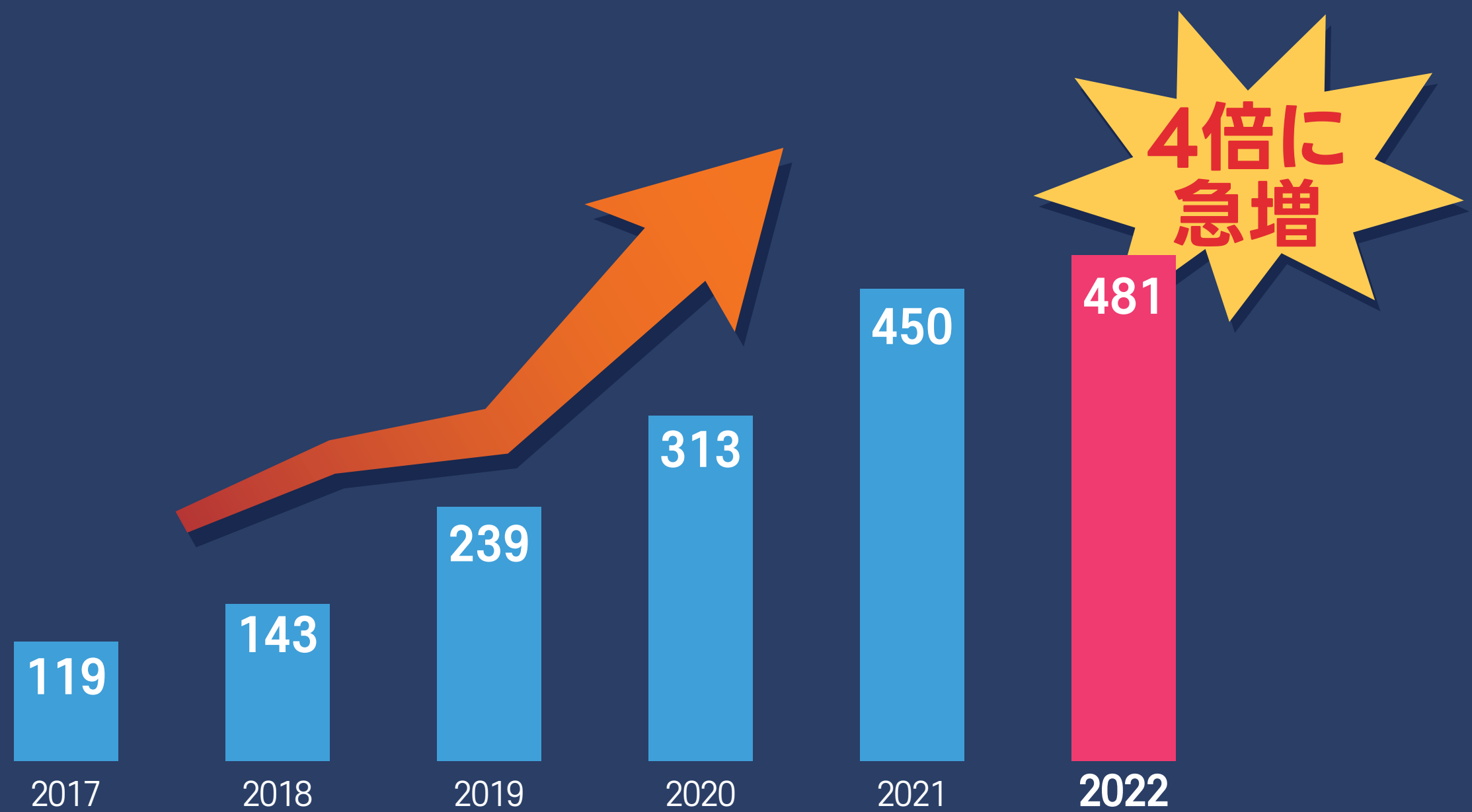




薬物事件、保護者の 関心が大切です



子どもが**薬物事件**に巻き込まれた **事例**が実際にありますか？



過去5年間の青少年麻薬事犯の推移(19歳以下)

- ✓ 最近、**薬物事件に巻き込まれる子どもたち**が急増しています。
- ✓ また、**最初は被害者だったのが、最終的には加害者になる事例**も発生しています。

※出典：麻薬類犯罪白書(大検察庁、2023)

向精神薬と知らずにインターネットで 購入して使用したケース



- ④ 医療目的の向精神薬は、必ず本人が医師から処方してもらい、決められた量を期間内に使用しなければなりません。
- ④ ところが、医療目的の向精神薬であることを知らず、インターネットの広告を見て購入し、使用した子どもがいます。
- ④ こうした向精神薬の違法取引で摘発された被疑者のほとんどが10代の子どもであることが明らかになりました。

※出典:「SNSなどで薬物「ナビ薬」の違法取引をした102人を集団送検」、メディカルトゥデー(2023.7.29)

事例2

好奇心から薬物を使用して**依存症**となり、 **販売**までするようになったケース



- ④ 売り手からの誘惑に負けて薬物を使用し、**依存症**になった子どもたちが、その後、**薬物を流通させる犯罪者**となりました。
- ④ **知らず知らずのうちに犯罪に深くかかわってしまい、後悔**しましたが、**取り返しがつきませんでした**。
- ④ 特定犯罪加重処罰などに関する法律違反（麻薬類管理法上の向精神薬の売買）で起訴され、5年から7年の懲役刑に処されました。

※出典:「好奇心から薬物依存に陥り、購入・販売まで 高校生にまで伸びる魔の手」、ソウル経済(2023.5.6.)

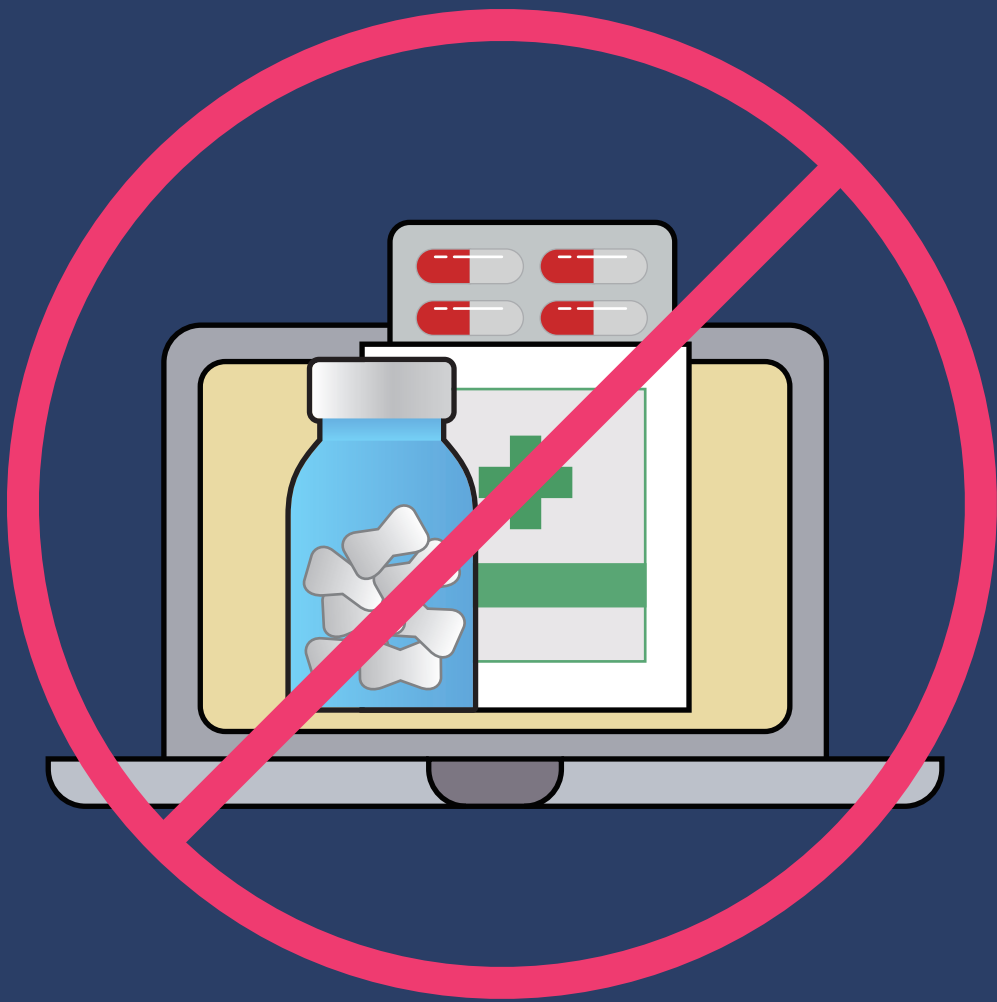
強力な麻薬性鎮痛薬を違法な処方によって入手・使用したケース



- ✓ 特定の疾患（末期がんなど）の治療のために、成人に限って受診したうえで処方してもらえる向精神薬を、違法に処方してもらい使用した子どもたちがいます。
- ✓ 依存症になってしまった子どもたちは、公園や商店街のトイレ、さらには学校内で投薬したりしました。
- ✓ 関与した子どもたちは全員「麻薬類の管理に関する法律」違反で処罰され、一部は深刻な依存症状により治療を受けました。

※出典：「医者が処方したからいいでしょう... 麻薬に陥いる子どもたち」、ソウル新聞（2021.10.31.）

薬物に限らず、医薬品の インターネット取引はすべて違法です。



- ④ 売り手が薬物であることを隠して販売することが多いため、インターネットでの医薬品購入は絶対にしてはいけません！
- ④ 購入後、実際に使用しなかったとしても、薬物事犯として処罰されます。

麻薬！好奇心を持つことさえも危険です。

- ✓ ささいな好奇心から始めた薬物使用は、より深刻な犯罪につながる可能性があります。
- ✓ 麻薬は所持しただけでも処罰され、未成年者であっても実刑を宣告されることがあります。
- ✓ 子どもが薬物事件に巻き込まれないよう、家庭でも関心を持って注意深く見守ってください。



相談・教育機関



✓ 韓国麻薬退治本部
:1899-0893

- 全国13地域の市・道支部で訪問や手紙、Eメール、電話による相談に対応しています。
- 医療機関との連携



子ども向けの薬物乱用防止教育資料



✓ 学生健康情報センター
: <https://schoolhealth.kr>



入院・外来治療および相談機関



✓ 地域社会内の治療・保護機関
✓ 中毒管理統合支援センター



薬物犯罪の通報

✓ 警察: 112
✓ 検察: 1301

※相談・教育・治療機関での相談において、個人情報 は 厳重に保護されます。

※本人だけでなく、家族や知人など、身近な方からの相談も受け付けています。